

磐井川地区民有林直轄地すべり防止事業
第2回概成検討委員会議事概要

1 日時

平成 30 年 1 月 29 日（水） 14:00 ～ 16:00

2 場所

岩手県一関市竹山町7番5号 岩手県県南広域振興局 一関地区合同庁舎 3階会議室

3 出席者（委員）

井良沢 道也（岩手大学農学部教授）

岡本 隆 （国立研究法人森林研究・整備機構森林総合研究所森林防災研究領域チーム長）

阿部 義樹 （岩手県農林水産部林務担当技監）※代理出席 森林保全課総括課長

長田 仁 （一関市副市長）※代理出席 農地林務課長

島内 厚実 （東北森林管理局計画保全部長）

4 議事内容

第2回概成検討委員会審議テーマ	審議内容の概要
1. 第1回概成検討委員会の審議結果と第2回概成検討委員会における課題の確認	第1回委員会の審議結果と第2回委員会の課題を再確認する。
2. 概成判断フロー図の修正	修正フロー図案の妥当性を審議する。
3. ニゴリ沢旧1-2ブロック	1)追加対策工事の実施状況 2)今年度の観測結果及び安全率の推移 上記の検証を踏まえて、概成判断が可能か審議する。
4. 岡山A-2ブロック	1)追加対策工事の実施状況と今年度観測結果及び安全率の推移 2)A-2～A-4ブロックの関連性の考察 3)A-2ブロック末端部の地下水位と河川水位との関係 上記の検証を踏まえて、概成判断が可能か審議する。
5. 岡山D-1ブロック	今年度の観測結果及び安全率の推移を踏まえて概成判断が可能か審議する。
6. 構造物の健全度	1)産女川 No. 5・No. 11 治山ダムが位置する地すべりブロック内の集水井工の点検結果 2)上記の報告を踏まえて、産女川 No. 5・No. 11 治山ダムの補修案について審議する。
7. 今後の課題	「維持・管理マニュアル」の作成方針の妥当性を審議する。

5 検討結果

- ・第1回委員会で提言された概成判断フロー図に追加した記載内容は妥当であると了承された。
- ・ニゴリ沢旧 I-2 ブロック、岡山 A-2 ブロック、岡山 D-1 ブロックについては、概成方針に従って総合的に概成と判断された。なお、事業最終年度となる平成 30 年度にも以下の取組を実施することと提言された。
取組①：目標安全率未達成のブロックは継続して観測を行い対策工の効果を確認すること。
取組②：なお、目標安全率未達成の場合は目視点検、現況踏査を行い変状の有無を確認すること。
- ・産女川 No.5、No.11 治山ダムの堤体の補修工事は検討案で了承された。実施予定は平成 30 年度とする。
- ・「維持・管理マニュアル」を平成 30 年度に作成するとして事務局提案が了承された。なお、マニュアル作成にあたっては、最終的に引き渡しを受ける県と十分に調整すること。

<総括（座長まとめ）>

- ・第2回概成検討委員会審議テーマ1から7について委員より承認を得られた。
- ・磐井川地区民有林直轄地すべり防止事業の概成は妥当であることを承認する。